

平成20年3月期中間決算説明会 ～ 中間決算短信補足資料 ～

平成19年12月6日(木)
石光商事株式会社
(証券コード:2750 JASDAQ)

目次

- ・平成20年3月期中間決算の概況
- ・平成20年3月期 通期の見通し
- ・中期的展望
～「THE GLOBAL FOOD MERCHANDISER」を目指して～
- ・参考資料
～ 会社概要、売上高概況(個別) ～

・平成20年3月期 中間決算の概況

常務取締役 経営企画室管掌管理部門長
久保 潤一

1. 当中間決算(連結)のポイント

売上高

前年同期比 増加(+3.7%)。期初予算には未達。(- 0.8%)。

営業損失

32百万円(前同比 2.3%)

- ・売上総利益率の低下 11.69% 11.01%
円安要因と食品全般に渡る世界的原料高
販売価格の改定を進めるものの、それを上回る原料高や円安によるコスト上昇。
飲料・食品業界の競争激化
- ・販管費の増加 前同比+2.3% 運送料・保管料・検査費用

経常利益

0百万円(前同比 99.8%)

- ・持分法投資利益はほぼ前年同期と同水準の73百万円。

中間純損失

110百万円(前同比 282百万円)

前年同期比 大幅減少(- 282百万円)。

- ・通期見通しが当初より下回ることが見込まれることから、繰延税金資産の回収可能性を見直した結果、その一部を取り崩し 税金費用が増加。(法人税等調整額に148百万円を追加計上)

- ・前年同期・・・ 特別利益にて 未払金戻入益 150百万円 計上。
(未払金に計上していた立退料債務の時効期日が経過したため)

2. 平成20年3月期中間決算(連結)の概要



石光商事株式会社

実績と前期比

(百万円)

	H19年3月期		H20-3期 中間予想 (5/25)	H20-3期 中間実績	前年同期比		予想比	
	中間	通期			金額	比率	金額	比率
売上高	17,122	35,638	17,887	17,750	628	3.7%	137	-0.8%
売上総利益	2,001	4,131	2,194	1,954	46	-2.3%	239	-10.9%
販売管理費	1,942	3,861	1,982	1,987	44	2.3%	4	0.2%
営業利益	58	269	212	32	90	-	244	-
持分法による 投資利益	74	27	31	73	0	-1.2%	42	135.3%
経常利益	120	292	206	0	120	-99.8%	206	-99.9%
特別利益	161	155	-	5	156	-96.6%	-	-
特別損失	0	0	12	6	5	948.0%	6	-48.6%
当期純利益	172	228	119	110	282	-	229	-
E P S(円)	21.61	28.55	14.97	13.81	35.42	-	28.78	-

3. 第1四半期・第2四半期の状況



石光商事株式会社

・第2Qに苦戦。(売上総利益率 第1Q 11.52% 第2Q 10.50%)

(百万円)

	第1Q			第2Q			H20-3期中間		
	前期	当期	前同比	前期	当期	前同比	前期	当期	前同比
売上高	8,514	8,978	463	8,607	8,772	164	17,122	17,750	628
コーヒー生豆	1,269	1,253	15	1,122	1,139	17	2,391	2,392	1
飲料製品及び原料	1,152	1,151	0	1,065	984	81	2,218	2,136	82
常温食品	2,280	2,490	209	2,304	2,471	166	4,585	4,961	376
冷凍食品	2,027	2,336	309	2,284	2,519	235	4,311	4,856	544
食品原料	1,538	1,655	117	1,717	1,524	193	3,255	3,179	76
その他	246	90	155	113	133	20	359	224	135
売上総利益	1,013	1,033	20	988	920	67	2,001	1,954	46
販売管理費	1,082	997	84	860	989	129	1,942	1,987	44
営業利益	69	36	105	127	68	196	58	32	90
経常利益	31	58	90	152	58	210	120	0	120
当期純利益	14	38	52	186	148	335	172	110	282

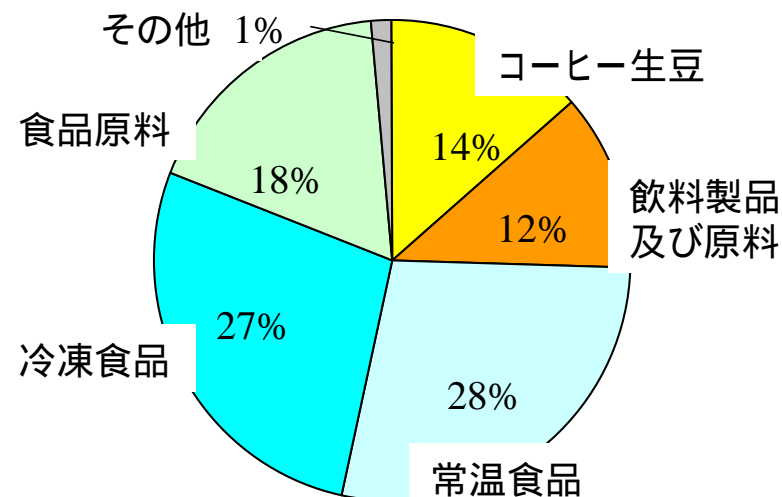
4. 品目別売上高(連結)構成比と前期比

品目別売上高(連結) 前年同期比

(単位:百万円)

品目	H19-3期中間	H20-3期中間	前年同期比	
			比率	変動
コーヒー豆	2,391	2,392	0.1%	→
飲料製品及び原料	2,218	2,136	-3.7%	↓
常温食品	4,585	4,961	8.2%	→
冷凍食品	4,311	4,856	12.6%	→
食品原料	3,255	3,179	-2.3%	↓
その他	359	224	-37.7%	↓
合計	17,112	17,750	3.7%	→

H20-3期中間 売上高構成比 (合計 17,750百万円)



増減の主要因

飲料製品及び飲料原料・IC・茶類の減少

常温食品・食品輸出 イタリア食品 増加

冷凍食品・冷凍水産品・調理加工品増加

食品原料・生鮮野菜・栗原料・栗加工品が減少

主要商品の売上高概況(個別)については、末尾ご参考資料(P29～P33)をご覧ください。

5-1. 利益減少の要因(為替レート推移と円安影響)

当社決済レート推移

	H18年3月期	H19年3月期		H20年3月期	前年同期比
		中間	通期	中間	
US \$	111.83	115.30	116.28	118.30	3.00
EUR	136.39	137.01	136.99	157.73	20.72

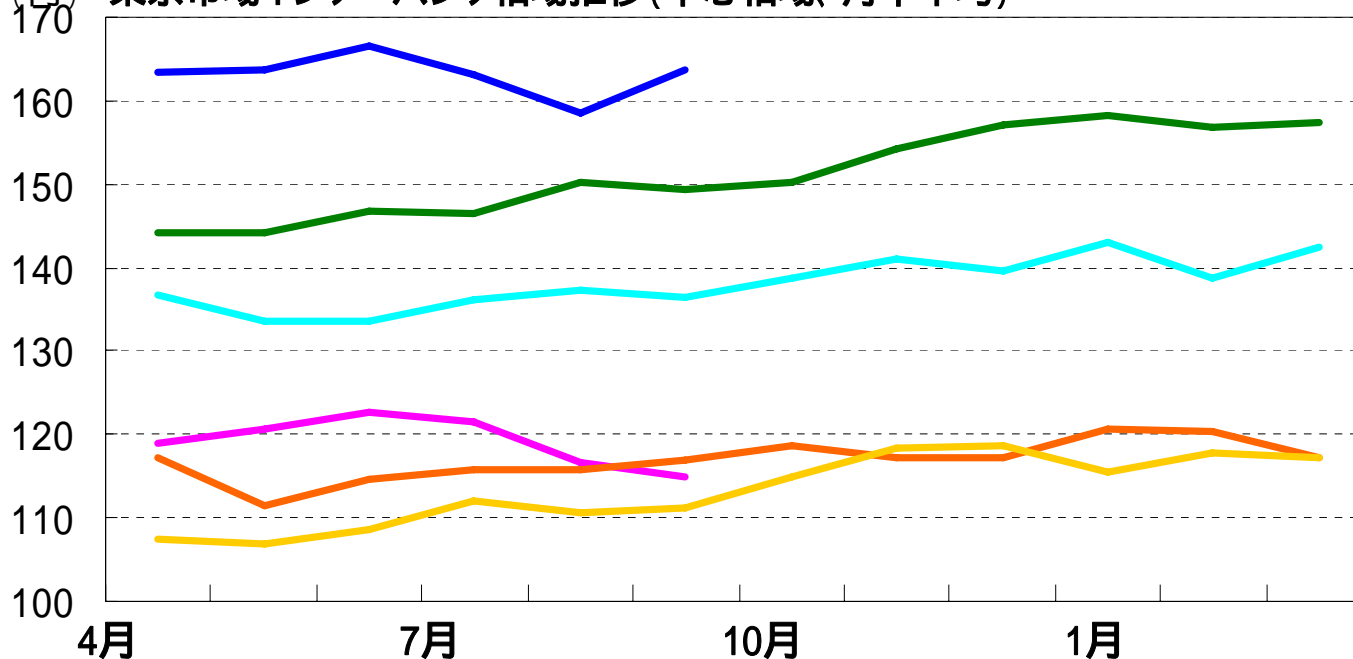
円安影響額 (百万円)

	前年同期比
US \$	142
EUR	65
合計	207

東京市場インターバンク相場(中心相場、月中平均)

	H18年3月期	H19年3月期		H20年3月期	前年同期比
		中間	通期	中間	
US \$	113.26	115.29	116.94	119.25	3.96
EUR	138.12	146.88	151.26	163.13	16.25

(円) 東京市場インターバンク相場推移(中心相場、月中平均)

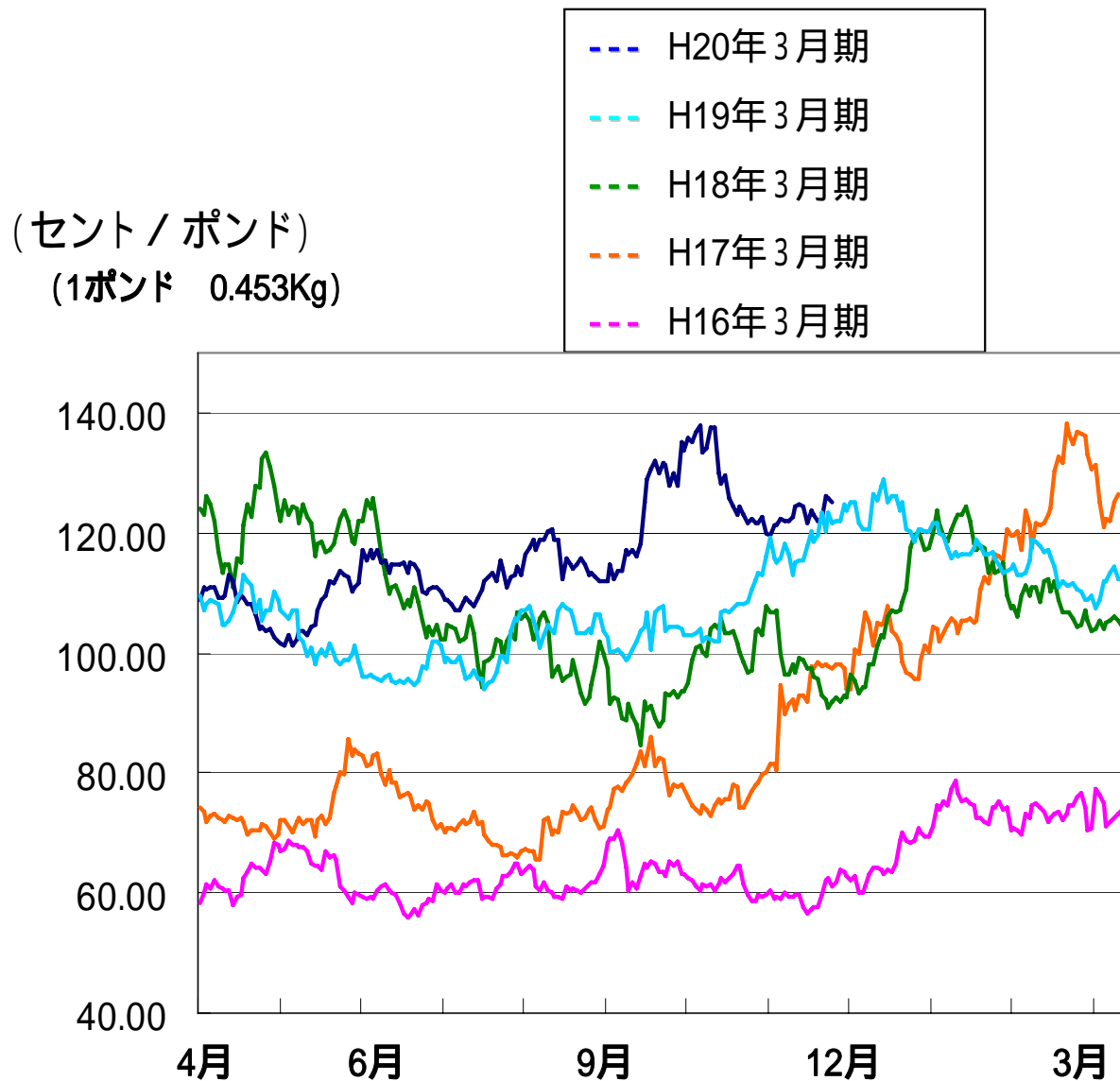


(出所) 日本銀行HP公表レート

5-2. コーヒー製品への影響 (NYコーヒー相場)



石光商事株式会社



ニューヨーク先物期近銘柄
終値 月平均推移(セント/ポンド)

	H16年3月期
期中平均	64.65

	H17年3月期
期中平均	86.22

	H18年3月期
期中平均	106.68

	H19年3月期
上期平均	102.15
期中平均	108.45

	H20年3月期
H19/4月	108.24
5月	106.97
6月	114.03
7月	110.67
8月	115.81
9月	122.32
上期平均	113.01
10月	129.68
11月	122.84

(出所) ニューヨーク商品取引所 先物期近銘柄

5-3. 利益増減の要因(原料高の影響)

売上総利益率(連結) 推移

H19-3(前中間)	H19-3(前期)	H20-3中間 (当中間)	前年同期比	前期比
11.69%	11.59%	11.01%	0.68	0.58

品目別 売上総利益率増減の主要因(「その他」は売上総利益総額に占める割合が僅少な為除く)

品目別	前年同期比		前期比		利益率増減の主要因
	増減	方向	増減	方向	
コーヒー生豆	+0.21	↑	0.81	↑	相場は高値で推移。産地国消費・新コーヒー消費国と世界の需要増に加え、投機資金で振幅大の影響
飲料製品及び原料	2.79	↓	2.45	↓	コーヒー製品:PB主体に価格改定をはかるもそれを上回る原料高 茶類:紅茶輸入価格(CIF)は昨年から10%アップ、今期も更に9%アップ 価格転嫁は厳しい。
常温食品	0.30	↓	+0.05	↑	農産・果物缶詰:異常気象による減産、産地国通貨高、人件費、容器、バイオ燃料 等で高騰
冷凍食品	0.72	↓	0.37	↓	水産:世界的需要増 エビ1年前15%アップのまま高止まり タコ14%、イカ10%コストアップ 調理加工品:原価アップ 10~15% 10~11月以降価格改定中。
食品原料	0.03	↓	0.23	↓	トマトペースト、農産品全般は原料高 玉葱豊作により販売価格が低下

中国食品の安全問題の影響

農産品・中国開発品 : 量販・小売向け、惣菜用で影響。

6. TACRの業績推移

東京アライドコーヒーロースターズ(株)



石光商事株式会社

・持分法投資利益は、
 (コーヒー相場高値推移・円安による原料コストの上昇の影響により苦戦が続く)

実績と前年同期比

(百万円)

	平成18年12月期		平成19年 12月期中間	前年 同期比	平成19年 12月期予想	前期比
	中間期	通期				
売上高	4,506	9,280	4,530	0.53%	9,000	-3.0%
当期純利益	186	69	184	-1.19%	208	199.0%
当社持分比率	39.64%	39.64%	39.64%	-	39.64%	-
投資損益合計	74	27	73	-1.19%	82	199.0%

7. 連結貸借対照表 概要



石光商事株式会社

(百万円)

科目	H18年9月	H19年9月	増減	科目	H18年9月	H19年9月	増減
流動資産	12,294	12,902	608	流動負債	8,340	8,505	164
現金及び預金	1,662	1,804	141	仕入債務	4,009	4,211	202
売上債権	5,896	5,958	61	借入金	2,702	2,527	175
たな卸資産	4,454	4,815	360	その他	1,629	1,767	137
その他	280	325	44	固定負債	2,311	3,181	870
固定資産	6,293	6,419	125	長期借入金	1,588	2,352	763
有形固定資産	2,655	2,766	111	その他	723	829	106
無形固定資産	14	13	1	負債合計	10,652	11,687	1,034
投資その他の資産	3,622	3,639	16	純資産	7,935	7,634	301
<div style="border: 2px solid red; border-radius: 15px; padding: 10px; background-color: #f8d7da;"> <p>・たな卸資産の増加 360百万円 ・長短借入金の増加 588百万円</p> </div>				資本金	623	623	-
				資本剰余金	357	357	-
				利益剰余金	6,629	6,415	214
				自己株式	4	4	-
				評価・換算差額等	128	43	85
				少数株主持分	202	200	1
資産合計	18,588	19,322	733	負債純資産合計	18,588	19,322	733

自己資本比率	41.60%	38.50%	-3.10%
--------	--------	--------	--------

8. 連結CF計算書 概要



石光商事株式会社

(百万円)

	H17年中間	H18年中間	H19年中間	主要項目
営業活動によるCF	745	322	83	売上債権の増加による資金減少 149 たな卸資産の増加による資金減少 486 仕入債務の増加による資金増加 +674
投資活動によるCF	18	82	214	有形固定資産の取得による資金減少 116 IC(インスタントコーヒー)充填設備リニューアル CB(コーヒーバッグ)製造ライン増設 貸付による資金減少 77
財務活動によるCF	972	402	32	借入による資金増加 +1,175 借入金の返済による資金減少 978
換算差額	12	16	8	
現金等の増減額	196	19	107	
現金等の期首残高	1,716	1,599	1,819	
現金等の中間期末残高	1,520	1,580	1,711	

・平成20年3月期 通期業績見通し

常務取締役 経営企画室管掌管理部門長
久保 潤一

9 . H20年3月期通期見通しの前提



石光商事株式会社

H19年10月22日に中間・通期業績予想の下方修正。

下期も、上期同様原料高等、厳しい環境が続き、
利益面について当初(5/25)の予想を下回ることが見込まれる。
上期の下振れ分 + (利益)下期見直し 通期予想を下方修正。

売上高

1. 前期比 6.2% 増加
2. コーヒー飲料・・・コーヒーバッグが増加
冷凍食品・・・水産加工品・調理加工品が増加

利益面

1. 原料高等 引き続き厳しい環境が続くと予想
2. 円高の影響は、現時点では織り込まず
3. 繰延税金資産の一部取り崩しによる税金費用の増加により、当期純利益は減少の見込み。

10. 業績予想(連結)



- ・H19年10月22日に中間・通期業績予想の下方修正。
- ・H19年11月9日に配当予想の修正。(減配)

(百万円)

	平成19年3月期		平成20年3月期					
	実績	増減率	5/25 予想	10/22 修正予想	当初(5/25)予想比		前期比	
					金額	比率	金額	比率
売上高	35,638	0.5%	37,957	37,836	121	-0.3%	2,198	6.2%
売上総利益	4,131	-0.3%	4,655	4,247	407	-8.8%	115	2.8%
販売管理費	3,861	2.6%	3,937	3,943	6	0.2%	81	2.1%
営業利益	269	-28.6%	717	304	413	-57.6%	34	12.6%
持分法による 投資利益	27	-82.6%	40	82	42	103.8%	54	199.0%
経常利益	292	-57.9%	689	308	381	-55.3%	15	5.3%
当期純利益	228	-76.5%	387	26	361	-93.2%	201	-88.4%
E P S(円)	28.55	-76.5%	48.53	3.30	45.23	-93.2%	25.25	-88.4%

H19-3期 配当実績 20円

H20-3期 配当予想 15円

10円

11. 業績予想(連結 品目別売上高)



冷凍食品・輸入水産加工品・輸入調理加工品が増加の予想

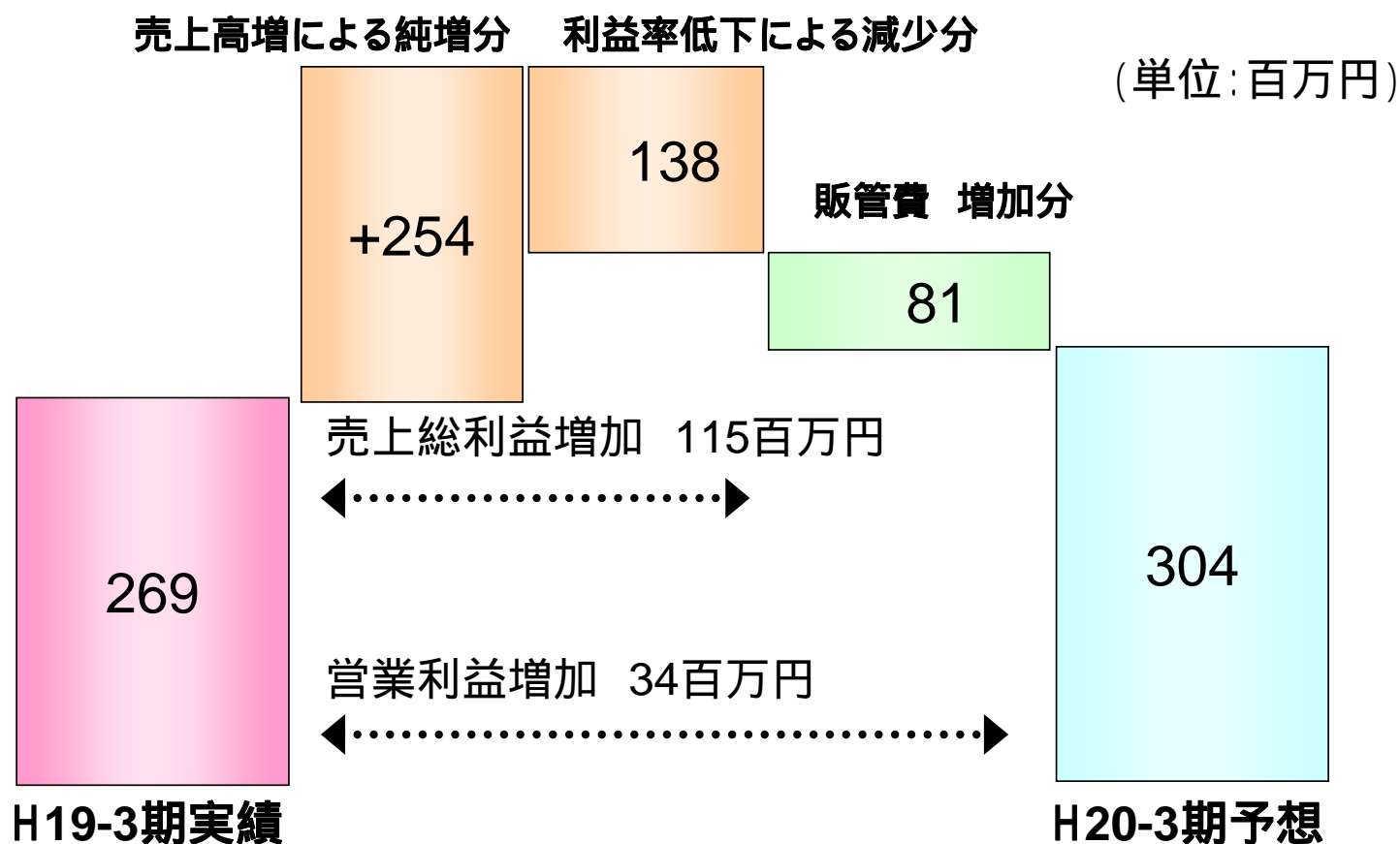
(百万円)

	平成19年3月期実績				平成20年3月期予想			
	売上高		前期比		売上高		前期比	
	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比	金額	増減率
コーヒー生豆	4,780	13.4%	166	3.6%	4,763	12.6%	18	-0.4%
飲料製品及び原料	4,699	13.2%	377	8.7%	4,863	12.9%	164	3.5%
常温食品	8,908	25.0%	297	3.5%	9,722	25.7%	814	9.1%
冷凍食品	9,184	25.8%	682	8.0%	10,186	26.9%	1,002	10.9%
食品原料	7,436	20.9%	449	6.4%	7,845	20.7%	408	5.5%
小計	35,010	98.2%	1,973	6.0%	37,381	98.8%	2,371	6.8%
その他	627	1.8%	1,792	-74.1%	454	1.2%	173	-27.5%
合計	35,638	100.0%	180	0.5%	37,836	100.0%	2,198	6.2%

12. 業績予想(連結)

20-3予想営業利益 前期実績との差異

・売上総利益率は 11.2%に低下 (前期(H19-3)は11.6%)



・中期的展望

～「THE GLOBAL FOOD MERCHANDISER」を目指して～

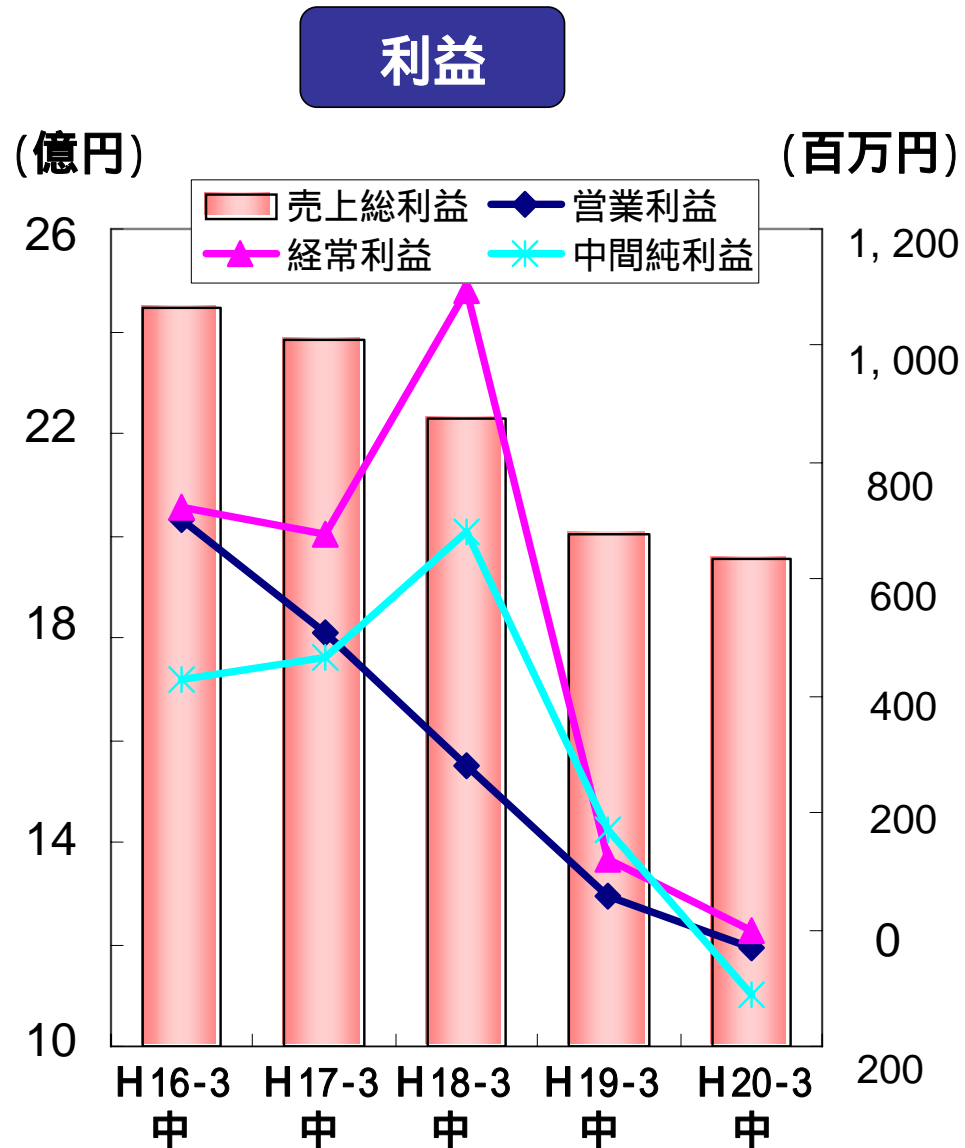
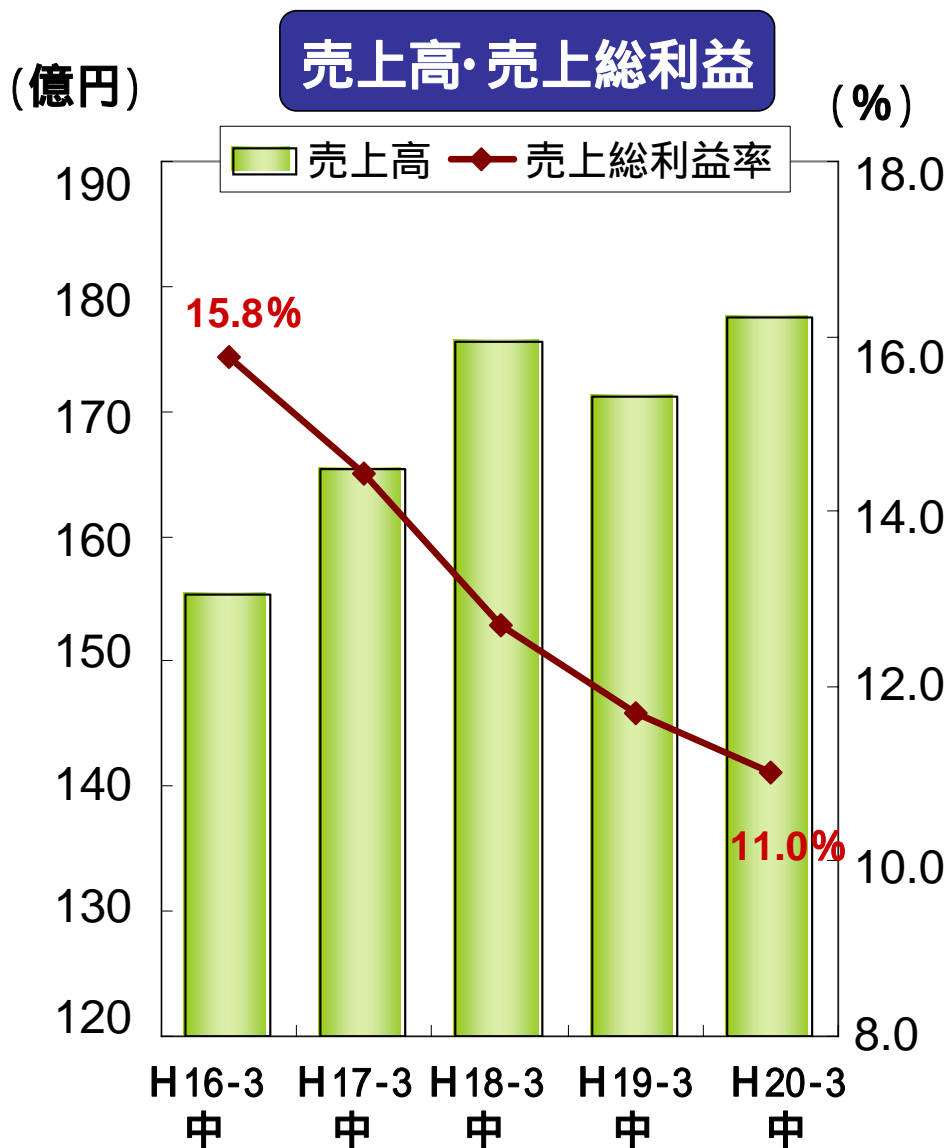
代表取締役 社長
森本 茂

13. 中間期(5年)の業績推移(連結)

損失に転落

	H16-3期 中間	H17-3期 中間	H18-3期 中間	H19-3期 中間	H20-3期 中間
売上高	15,535	16,535	17,554	17,122	17,750
売上総利益	2,447	2,384	2,228	2,001	1,954
営業利益	702	506	279	58	32
経常利益	722	677	1,096	120	0
中間純利益	428	468	679	172	110

14. 中間期(5年)の業績推移(連結)



15. 取り巻く環境の変化

仕入コスト 安い
販売コスト 安い

安く作り、安く売る
利益の確保ができた。

- ▶原料(原油・農産物・水産物等)価格の高騰
- ▶為替 …円安
- ▶販売価格 …横ばい

仕入コスト 上昇
販売コスト 上昇

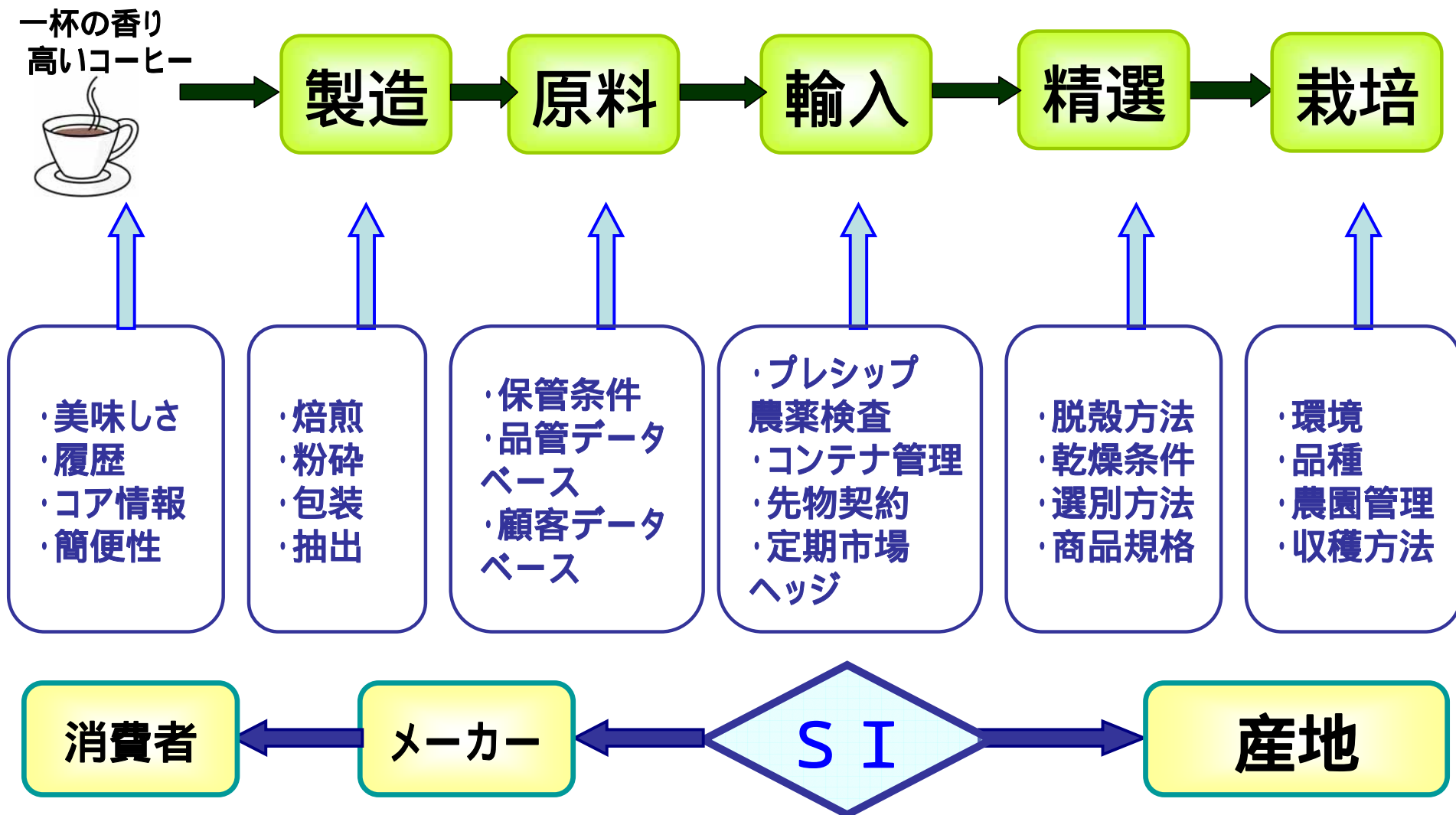
コストアップにより従来の売り方では
利益が出ない
収益悪化

今までのビジネスモデルを見直す必要性が生じている

デフレからインフレビジネスへ

16. ビジネスモデルの検証

コーヒー事業の目的・・・「**コーヒーの価値を高める**」



17. コーヒー業界が抱える問題点

1) 総需要停滞

喫茶外食需要減少
 IC 2大メーカーに集中
 家庭用RC 微増
 工業用 缶コーヒーの飽和

2) 競争激化

量販店の巨大化 ハイキングパワーアップ
 競合企業過多
 販売価格低下

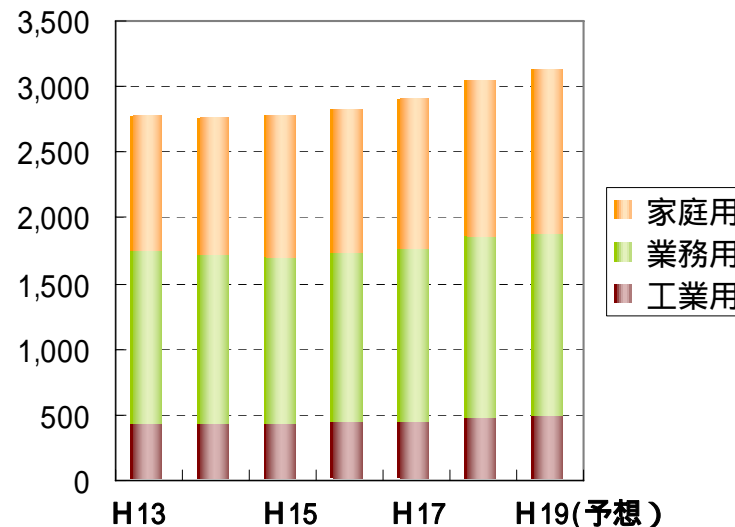
3) コスト上昇

生豆相場
 高品質生豆
 資材・加工費用 上昇

4) 安全性

ポジティブリスト制への対応
 表示問題

レギュラーコーヒーの市場別販売推移



(出所) 日刊経済通信社 調べ

NYコーヒー相場推移



(出所) ニューヨーク商品取引所
 先物期近銘柄

18. 当社グループの抱える問題点



1) 商品	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 原料主体・・・市況の影響を受けやすい ✓ OEMが多い・・・価格競争にさらされやすい
2) 得意先	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 伝統的顧客の勢力縮小 ✓ 量販（OEM中心）・・・価格競争にさらされやすい
3) 社員・組織	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 専門知識・技術の固有化 ✓ チーム連携少ない
4) グループ企業	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 各社の連携意識希薄

	主たる業務	主たる販売先
石光商事	コーヒー生豆及びコーヒー関連商品の輸入卸	ロースター 量販店 メーカー
KACR(関西アライドコーヒーロースターズ)	コーヒー生豆の焙煎加工	量販店
TACR(東京アライドコーヒーロースターズ)	コーヒー生豆の焙煎加工	飲料メーカー
ユーエスフーズ	生豆小分け販売	マイクロロースター
キング珈琲	喫茶店向けコーヒー食材卸	飲食店

19. 問題に対する対応・対策



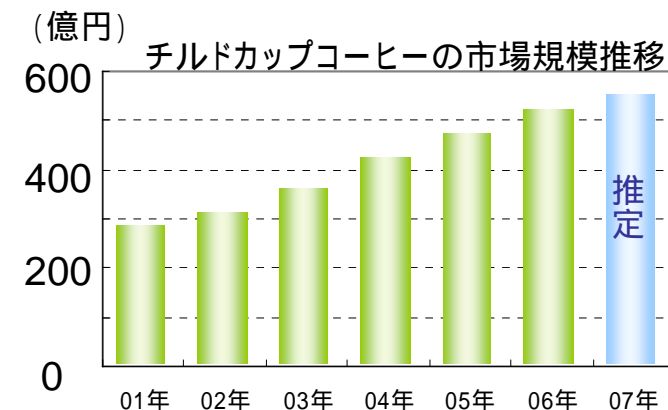
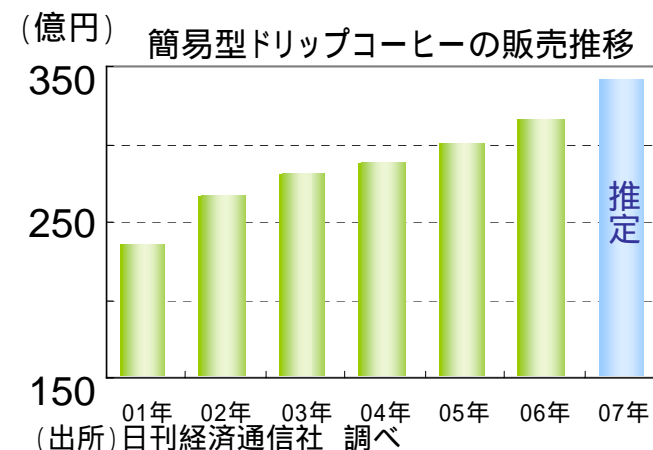
石光商事株式会社

インスタントコーヒー



1) 新しい需要の喚起

- ✓ 業態転換の提案
コーヒー専門店へ中高年客を取り込む
- ✓ ニッチ商品の開発
オイルコートPB ギフト商品
- ✓ 簡易型ドリップコーヒーへ集中
- ✓ チルドカップの提案
抽出設備・原料のパッケージ販売
- ✓ 新コンセプトレギュラーコーヒー

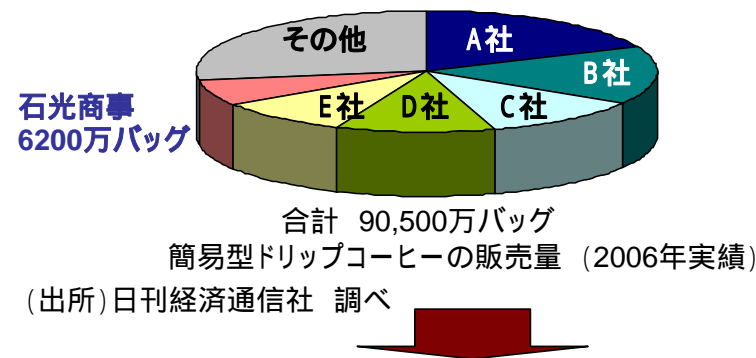


(出所): 日経流通新聞 チルドカップコーヒーの市場規模 (ACニールセン調べ)

20. 問題に対する対応・対策

2) 設備投資

- ✓ IC (インスタントコーヒー) 設備
- ✓ コーヒーバッグ (簡易型ドリップコーヒー) 生産設備の増強
- ✓ 新概念焙煎機
CO₂削減 「環境に優しい」
森林や動物を守る原料+省エネ)



当期予想 8,500万バッグ 1億バッグを目標に

3) 取引先との共同開発

- ✓ 品質セミナー
- ✓ 分析受託、品質管理、教育

4) 社員教育

- ✓ チームリーダー教育
- ✓ Coffee Merchandiser制度
- ✓ 組織再編

5) グループシナジー

	工業用 RC	家庭用 RC	飲食店	自家焙煎	家庭用 IC
石光商事					
KACR					
TACR					
U-エスワース					
キング珈琲					

▶ 予想数値

		(前期比)
売上高	37,836百万円	+6.2
営業利益	304百万円	+12.6
経常利益	308百万円	+5.3
当期純利益	26百万円	88.4

▶ テーマ

強固な組織作り(人財育成と組織活性化)

▶ 取り組みのポイント

- 1) 部門制の強化・チーム統合
- 2) マーチャンダイザー制度
- 3) チームリーダー教育
- 4) 管理業務の統合
- 5) 調達・在庫管理の強化

22. 中期経営計画の骨子



石光商事株式会社

➡ 目指すべき企業像

「THE GLOBAL FOOD MERCHANDISER」

➡ 挑戦テーマと数値目標

期	テーマ	売上	営業利益
H20-3期	強固な組織作り(人財育成と組織活性化)	37,836	304
H21-3期	顧客・社会との信頼関係向上(品質重視・利益視点)	38,975	997
H22-3期	規模の拡大(グループシナジーの追求と海外事業拡大)	40,488	1,118

- 1) コストコントロールと値上による益率の大幅改善
- 2) 成長分野への集中
- 3) 新規取組み先の拡大

23. 経営理念



石光商事株式会社

「ともに考え、ともに働き、ともに栄えよう」

- 社員とともに
- お客様とともに
- 仕入先様とともに
- 株主様とともに
- 社会とともに
- 世界とともに

幸せを共感できる会社となります。

・ 参考資料

～ 会社概要、売上高概況(個別) ～

会社概要



石光商事株式会社

社名 : 石光商事株式会社 (S.ISHIMITSU & CO.,LTD.)
本社 : 神戸市
代表者 : 代表取締役会長 代表取締役社長
 石光輝男 森本 茂

創業者 : 石光季男
創業 : 1906年7月 ロサンゼルスにて
設立 : 1951年5月
売上高 : 35,638百万円 (平成19年3月期連結)
経常利益 : 292百万円 (平成19年3月期連結)
当期純利益 : 228百万円 (平成19年3月期連結)
従業員数 : 228人 (平成19年3月末連結)
主要業務 : コーヒーを中心とする食品販売事業
関係会社 : 連結子会社5社、持分法適用関連会社1社

沿革



石光商事株式会社

- ◆ 1906年 : 創業者が単身渡米、ロサンゼルスにおいて食料品販売業を創業
- ◆ 1922年 : 対日貿易量の増大にともない本店を神戸に移す
- ◆ 1941年 : 戦争激化により休業。海外資産没収
- ◆ 1951年 : 貿易再開と同時に神戸にて株式会社石光季男商店を設立
- ◆ 1963年 : 石光商事株式会社と改称
- ◆ 1972年 : 東京アライドコーヒーロースターズ(株)設立(東京地区取引先との共同出資)
- ◆ 1973年 : 関西アライドコーヒーロースターズ(株)設立(関西地区取引先との共同出資)
- ◆ 1999年 : 神戸市灘区にて本社新社屋ビルが完成、移転
- ◆ 2002年 : 組織改革 チーム制の導入
店頭市場(現:ジャスダック証券取引所)に上場
- ◆ 2004年 : 人事制度改革、情報システム再構築へ着手
安全な食品の提供(研究開発室・品質保証室の強化)
- ◆ 2005年 : 新人事制度の導入
- ◆ 2006年 : 創業100周年を迎える



石光商事グループ



石光商事株式会社

関西アライドコーヒー
ロースターズ(株)(神戸)

レギュラーコーヒーの
焙煎・加工・販売
(出資比率 65%)

東京アライドコーヒー
ロースターズ(株)(東京)

レギュラーコーヒーの
焙煎・加工・販売
(出資比率 39%)

キング珈琲(株)
(札幌)

レギュラーコーヒーの焙煎・販
売及び食品の販売
(出資比率 94%)

ユーエスフーズ(株)
(東京)

コーヒー生豆の小分け販売
(出資比率 100%)

岩屋サービス(株)
(神戸)

運送業
(出資比率 83%)

シーカフェ(株)
(東京)

イタリアレストランの経営
(出資比率 100%)

関西アライドコーヒーロースターズ(株)



キング珈琲(株)



岩屋サービス(株)
(当社物流センター内)



イタリアレストラン “イルバルベロ”



東京アライドコーヒーロースターズ(株)



ユーエスフーズ(株)



ピッツェリア “バッコ”



個別実績と連単倍率



石光商事株式会社

(単位:百万円,倍)

	平成19年3月期			平成20年3月期		
	中間			中間		
	連結	個別	連単倍率	連結	個別	連単倍率
売上高	17,122	16,906	1.0	17,750	17,577	1.0
売上総利益	2,001	1,771	1.1	1,954	1,758	1.1
営業利益	58	13	—	32	74	—
経常利益	120	5	22.4	0	86	—
中間純利益	172	90	1.9	110	207	—
E P S (円)	21.61	11.36	1.9	13.81	26.00	—

売上高概況(個別) ~ コーヒー生豆・RC・IC・紅茶 ~

- ・RC(レギュラーコーヒー)・・・コーヒーバッグが伸長
- ・IC(インスタントコーヒー)・・・家庭用商品の減少
- ・茶類・・・紅茶、緑茶原料の減少

実績と前年同期比

(百万円)

	平成19年3月期				平成20年3月期中間		
	中間期		通期		売上高	前年同期比	
	売上高	前同比	売上高	前期比		金額	増減率
コーヒー生豆	2,311	8.9%	4,716	3.3%	2,314	2	0.1%
RC	671	13.3%	1,548	5.5%	673	1	0.2%
IC	396	0.8%	895	4.6%	384	11	-3.0%
紅茶他茶類等	939	32.0%	1,863	22.6%	901	38	-4.0%

売上高概況(個別) ~ イタリア食材 ~



石光商事株式会社

実績と前年同期比

(百万円)

	平成19年3月期				平成20年3月期中間		
	中間		通期		売上高	前年同期比	
	売上高	前年同期比	売上高	前期比		金額	増減率
輸入パスタ	226	42.5%	443	16.1%	242	16	7.2%
オリーブオイル	188	11.4%	372	4.4%	212	23	12.3%
生ハム・チーズ	39	-20.7%	62	-31.3%	37	1	-3.8%
合計	454	20.3%	877	5.9%	492	38	8.4%

売上高概況(個別) ~ 冷凍水産加工品 ~



石光商事株式会社

・エビ類、タコ類 販売好調

実績と前年同期比

(百万円)

	平成19年3月期				平成20年3月期中間		
	中間		通期		売上高	前年同期比	
	売上高	前年同期比	売上高	前期比		金額	増減率
エビ類	1,140	1.1%	2,587	9.4%	1,325	185	16.3%
タコ類	557	29.5%	1,304	44.6%	634	76	13.8%
イカ類	83	29.3%	154	11.3%	93	10	12.7%
その他水産品	28	-61.8%	73	-22.3%	12	16	-55.7%
合計	1,810	6.6%	4,120	17.7%	2,067	256	14.2%

売上高概況(個別) ~ 冷凍調理加工品 ~



石光商事株式会社

- ・既存商品の伸長(鶏唐揚げ、お好み焼、フランクソーセージ等)
- ・新商品の積極的開発によるアイテム数の増加

冷凍調理加工品の実績

(百万円)

	平成19年3月期				平成20年3月期中間		
	中間		通期		売上高	前年同期比	
	売上高	前同比	売上高	前期比		金額	増減率
鶏唐揚げ	160	26.6%	317	15.5%	200	39	24.7%
白身魚フライ	60	28.0%	124	28.4%	65	4	8.0%
焼き鶏類	54	67.3%	100	45.7%	61	6	12.9%
お好み焼	28	-13.7%	71	-12.5%	40	12	42.1%
フランクソーセージ	28	63.6%	57	50.0%	36	7	26.5%
ロールキャベツ	16	-5.6%	36	-2.4%	17	0	5.1%
その他	150	73.6%	335	56.6%	205	55	36.7%
合計	500	38.2%	1,042	28.4%	627	127	25.5%

予測に関する注意事項

本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。

本資料は現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

いかなる理由によっても、当社に許可なく資料を複製・配布することを禁じます。

本日は、ありがとうございました。
今後とも、ご支援・ご理解を賜りますよう、
宜しくお願い申し上げます。

石 光 商 事 株 式 会 社
経営企画室 久保・前田

TEL : 078-861-7828

FAX : 078-882-1007

URL : <http://www.ishimitsu.co.jp/>

MAIL: ir@ishimitsu.co.jp



石光商事株式会社
S. ISHIMITSU & CO., LTD.